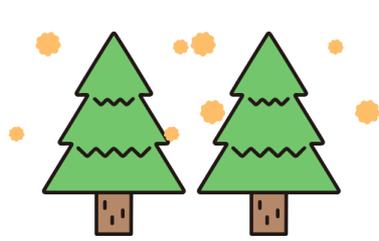


人工林を対象にしたPV設置ポテンシャルの算出と階層分析法（AHP法）を用いた適地抽出

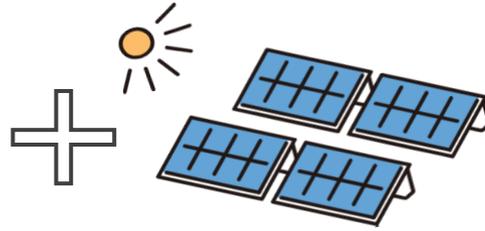
修士 2年 高橋沙里

研究背景



日本の人工林の課題

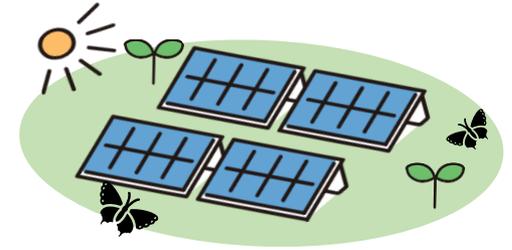
- ・収穫期を過ぎた人工林の増加
- ・草原の減少による生態系の保全



日本のPV導入の課題

- ・CNへ向け更なる追加導入
- ・設置適地の減少

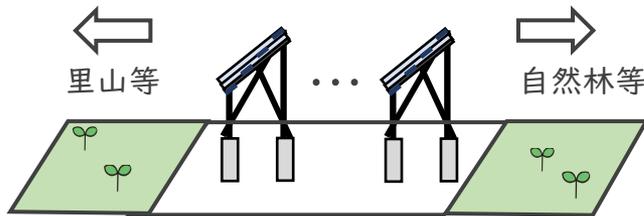
研究目的



放棄人工林を適地とした
新たな設置方法, 設置場所を検討

研究手法

◆ 新たな設置方法



➤ PVの外縁に
半自然草原を広げることで、
自然を涵養しながら
PVの追加導入を叶える

◆ 新たな設置場所

➤ 福井県内の森林を対象に、
GIS (地理情報システム) と
AHP法を用いて、適地を検討

➤ 段階に分けた適地抽出

1. 天然林・保護区域等の除外
2. 林齢や日射量による評価
3. AHP法による適地選定

➤ 設置面積、草原回復面積を算出

